

令和7年度 竹田市男女共同参画推進大会

講演会

男女共同参画の視点から 「たけたの未来」を考える

竹田市は、男女の性別にかかわらずに一人一人の人間として、その人権が尊重される社会(男女共同参画社会)の実現に向けた取組を行っています。私たち一人ひとりが「男女共同参画」を自分自身の生き方としてかわり、正しい理解と意識が持てるように講演会を通して一緒に考えてみませんか？

令和7年

日時

6月27日(金) 15:00~16:30 (開場14:30)

入場無料

場所

竹田市総合文化ホール
グランツたけた キナーレ

講師

大分大学 経済学部 教授
学長補佐 (社会連携担当)

わた なべ ひろ こ
渡 邊 博 子 さん

経済研究所、関東の大学を経て 2017 年度より大分大学経済学部教授。専門は産業経済論。大分大学では学長補佐として、社会連携担当。大分県男女共同参画審議会会長なども兼務。

15:30~16:30



令和6年度大分県女性のチャレンジ賞受賞

竹姫 代表 安倍美緒さんによる
活動発表&メッセージ



15:10~15:30

竹田市で子育て中の母親が中心となり活動中。竹姫マルシェの開催など地域に根ざした活動を行っています。

どなたでもお気軽にご参加ください

- ▶ 手話通訳あり
- ▶ 託児サービスあり (無料) ※申込締切6月20日(金)
託児申込先 Tel.090-2084-7912 ゆめいかだ

問合せ

竹田市人権・部落差別解消推進課
TEL: 0974-63-1111(内線290・351)

6月23日(月)から6月29日(日)は

男女共同参画週間

気づいていますか？家庭の中にあるアンコンシャス・バイアス

アンコンシャス・バイアスとは、誰もが持っている「無意識の思い込み」のことで、自分の経験などによって、性別、学歴、職業、年齢などで気づかぬうちにものごとを判断してしまっていることをいいます。無意識の思い込みにより、自分の選択肢や可能性をせばめてしまったり、無意識に発した言動が相手を傷つけたり、自分や周囲の成長を妨げてしまったりすることがあります。

アンコンシャス・バイアスに気づき、理解を深め、多様な価値観を尊重することが大切です。この機会に身の回りにあるアンコンシャス・バイアスについて考えてみましょう。

CASE 1

育児をする男性は特別!?



育児をする父親のことを「イクメン」と呼んだりしますが、母親にはそんな言葉はありませんよね。なぜ父親にだけこのような呼び名があるのかな……？
(40代 男性)

CASE 2

パパのお迎えは「普通じゃない」?



子どもが保育園で発熱。お迎えのために上司へ早退を申し出ると「奥さんは？」。同僚は「優しいのね。普通はママが行くでしょ」って……子どもの事はまず「奥さん」と言われるの、何かモヤモヤするな……
(30代 男性)

CASE 3

妻の予定は事前確認!?



夫は、仕事でも遊びでも自分1人で予定を立ててしまう。それも決まって事後報告。私がお家を開ける時は、前もって連絡して予定を確認するのに、夫は自由に決めて留守にしているの？これって不公平じゃない？
(30代 女性)

CASE 4

「子どものことはママ」前提?



幼稚園でも病院でも「ママに聞いてみて」「ママに伝えているから」と言われるばかり。今、子どもを連れてくるのはパパである僕なんだし、伝えたい事があるのなら、省略せずに僕に伝えてほしいよ。
(40代 男性)

CASE 5

「家事は妻がやること」なの?



家事と一言でいっても、やることはたくさんあるし手間もかかる。それなのに夫は、私がお願いしなきゃ家事をやってくれない…。夫は「言ってくればやるのに」って言うけど、なんで妻が家事をやる前提なの？
(30代 女性)

イラストはこちらの二次元コードからもご覧いただけます。



大分県消費生活・男女共同参画プラザ

大分県作成「令和5年度アンコンシャス・バイアス気づき発信プロジェクト」イラスト